

全国協議会 ニュース

2009年5月1日発行
第203号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

全国リレー記念植樹会 クライマックスへ

全国の皆様のご協力のもと、各地で行われている「骨髄移植1万例・さい帯血移植5千例ありがとうキャンペーン」全国リレー記念植樹会ですが、桜前線の北海道への到達と機を同じくして、いよいよライマックスに突入いたしました。
不安を抱えながら、全くの手探り状態でスタートしたこのイベントでしたが、開催地の皆様の熱意とご努力で、当初の想像以上にマスコミ等にも大きく取り上げられ、感動の輪が徐々に広がっております。今回は各地の様子を特集でお伝えいたします。

山形 小雪舞う中で植樹

3月29日、小雪の舞う寒い中、山形大学医学部附属病院正面の芝生に「桜の若木」3本を植樹しました。

ナーさん達が既にセットしておいた3本の桜の若木の根元に土をかけ、全員で記念写真を撮りました。(小野寺)

神奈川 何たる偶然!! 患者家族が「任せて」

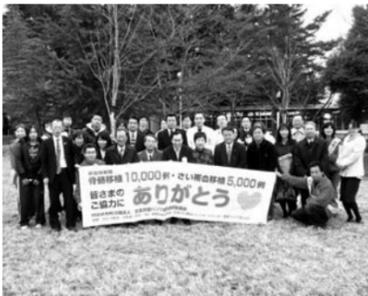
4月8日、神奈川県骨髄移植を考える会は患者・家族の滞在施設である「かもめのいえ」にて記念植樹を行いました。
会のメンバーが立ち上げた「BMTハウスサポートの会」(遠隔地から造血幹細胞移植や高度医療を受けに来る患者さんと家族の滞在施設運営)と神奈川県で、この施設に植樹する事が一番相応しいと即決。



植樹に際し、施設が東海大学医学部附属病院の敷地内にあるため、病院の許可を頂くのに、桜の苗木の種類や植える場所今後の管理方法等の調整がありました。当日準備に際しては、現在滞在中である骨髄バンクを介して移植を受けられた2人の患者さんご両親が、偶然にも造園師さんと花屋さんだったこともあり、お二方にすべて甘え頼ってしまいました。
そして初夏を思わせる輝きのこの日、患者さんご両親や2つの会の会長・副会長・MSW等病院関係者・ボランティアなど多くの手により「啓翁桜」が無事に植樹されました。骨髄バン

富山 植樹を待っていた? 血液センターに感謝

4月7日、富山県赤十字血液センター敷地内にて、記念植樹を行いました。樹種はヨウコウ(陽光)。移植患者、ドナー経験者、富山の会ボランティア、県医師会骨髄移植担当者、血液センター所長の5名で土をかけま



また、数人参加されたドナーさんのうち2度提供歴のある2名が1度目と2度目の提供した時のそれぞれの想いを披露され、そのさりげない言葉に胸が暖かくなりました。
式典後、場所を移動し、来賓、小児科の先生方、患者さん、ド



4月6日、秋田大学付属病院において1万例・5千例の記念植樹を行いました。前の週末の寒の戻りが嘘のような晴天のもと、秋田大学学長と病院長に祝辞をいただき、患者さん、ドナーさん、ドクターなど、関係者で(財)日本花の会から贈られた「福祿寿」を植えました。
当日はNHK、AKT秋田テレビ、新聞社などが取材にはいりました。事前にラジオなどでも何度も事前告知をして下さったおかげか、初めてお会いする患者さんともいらつしました。
骨髄バンクから提供を受けた患者さん、さい帯血移植を受けた患者さん、骨髄ドナーさんからのメッセージには骨髄バンク・さい帯血バンクを通じて命のつながりへの感謝の言葉が溢れていました。
1万例と5千例という記念に桜の木を植えて、「骨髄バンクを作った下ささい」と訴え、活動しな

秋田 たくさんの仲間へ 追悼と感謝の植樹

秋田大学付属病院において1万例・5千例の記念植樹を行いました。前の週末の寒の戻りが嘘のような晴天のもと、秋田大学学長と病院長に祝辞をいただき、患者さん、ドナーさん、ドクターなど、関係者で(財)日本花の会から贈られた「福祿寿」を植えました。
当日はNHK、AKT秋田テレビ、新聞社などが取材にはいりました。事前にラジオなどでも何度も事前告知をして下さったおかげか、初めてお会いする患者さんともいらつしました。
骨髄バンクから提供を受けた患者さん、さい帯血移植を受けた患者さん、骨髄ドナーさんからのメッセージには骨髄バンク・さい帯血バンクを通じて命のつながりへの感謝の言葉が溢れていました。
1万例と5千例という記念に桜の木を植えて、「骨髄バンクを作った下ささい」と訴え、活動しな



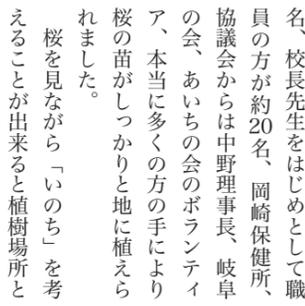
した。この地に血液センターが新築移転したのは、平成4年。骨髄バンクが設立され、ドナー登録業務が開始された直後のことでした。敷地の一角にある4坪ほどのスペースを植樹用に提供していただいたのですが、日当たり抜群なその場所は、もしかしたら、今回の植樹のために空けておいてくれたのではと思わずにはいられないほど、絶好のロケーションでした。血液センターさん抜きでは語れない、富山の骨髄バンク事情。これからもよろしく!(品川)

愛知 中堀由希子さんの 母校で植樹

桜の舞い散る中での記念植樹会が4月10日、岡崎の光ヶ丘女子高等学校にて開催されました。光ヶ丘女子高等学校は、皆様もご存知の中堀由希子さんの卒業された学校です。「ぜひ、光ヶ丘女子高校に植樹を」という当会の強い希望を学校が快く受けて下さいました。生徒さん約80名、校長先生をはじめとして職員の方が約20名、岡崎保健所、協議会からは中野理事長、岐阜の会、あいちの会のボランティア、本当に多くの方の手により桜の苗がしっかりと地に植えられました。

埼玉 1本の植樹が 対になる...

埼玉連絡会は、4月4日、埼玉医科大学国際医療センターで記念植樹を行いました。
植樹に先立つセレモニーは、笠原が司会を行い、全国協議会の大谷会長が今回の植樹キャンペーンの趣旨に触れて「この苗木が20年後には大樹になって、多くの患者さんを励ましてくれることを願っています」と感謝の挨拶を述べました。
続いて、同センターの佐藤事務長さんが「送られた苗木は1本でしたので、当センターでもう一本同じ種類の苗木を用意し



4月11日、獨協医科大学にて、全国リレー記念植樹会を行いました。
とちぎ骨髄バンクを広める会の喜吉代表による開会宣言に続き全国協議会野村副会長の趣旨説明、広める会初代代表の挨拶の後、県保健福祉部業務課長、県赤十字血液センター長、移植担当医師からご挨拶をいただき、いよいよ記念植樹です。元患者やドナー経験者の代表から最初に土をかけていただき、時折吹く風に舞う花びらが桜吹雪となつて舞い踊りました。
桜の名所でもある会場では桜祭りが開催中で、病院職員さん

や花見にこられた方々が多数見守る中実施でき、嬉しい限りでした。植樹した「フクロクジ」も来年からソメイヨシノと共に花を咲かせてくれるものと思えます。
93年1月、宇都宮市の男性の提供した骨髄が、宮城県内の白血病の男児に移植されたのがバンク初の事例ということを知り、感動を新たにしました。「支え合う いのち こころ」を合い言葉にこれからも頑張ります。(福田)

93年1月、宇都宮市の男性の提供した骨髄が、宮城県内の白血病の男児に移植されたのがバンク初の事例ということを知り、感動を新たにしました。「支え合う いのち こころ」を合い言葉にこれからも頑張ります。(福田)

栃木 骨髄提供第一例に 思いを馳せて

4月11日、獨協医科大学にて、全国リレー記念植樹会を行いました。
とちぎ骨髄バンクを広める会の喜吉代表による開会宣言に続き全国協議会野村副会長の趣旨説明、広める会初代代表の挨拶の後、県保健福祉部業務課長、県赤十字血液センター長、移植担当医師からご挨拶をいただき、いよいよ記念植樹です。元患者やドナー経験者の代表から最初に土をかけていただき、時折吹く風に舞う花びらが桜吹雪となつて舞い踊りました。
桜の名所でもある会場では桜祭りが開催中で、病院職員さん



間近に迫りました 全国骨髄バンクボランティアの集いin都城。

全国の皆様にはほんのさわりだけですがご紹介いたします。

まずは前夜祭。
5月29日は都城ウエルネス交流プラザ・ムジカホールで骨髄バンクチャリティライブ。ノリノリなロックンロールや、心に響くブルースあり、はたまた芸能生活30周年を迎えられ地元で親しまれて居るマー坊こと重信優さん(天地心絃流・家元)による津軽三味線の豪華演奏とジャンルは様々、老若男女幅広い市民の皆さんをそして遠方からの皆さんを歓迎いたします。みなさん音楽を介して、バンクへの理解を呼び掛けてくれます。

翌30日は大会記念式典のあとの第2部ですが、最初は地元でライブ活動を続けますタカオさんのアコースティックライブ。メッセージ性の高いライブは年配のボランティアの皆さんにも楽しんでいただけるものと思います。
続いては東ちづるさんを招いて大谷会長とのトークショー。一般の皆さんにボランティア活動の楽しさをお二人が語ってくれます。
1400人を収容する素晴らしい都城総合文化ホールでみやざきの会のメンバー一同、全国各地の皆さんをお待ちいたします。

2009全国骨髄バンク
ボランティアの集い
in都城

5月30日(土)
都城総合文化ホール 大ホール
開場 13:30 開演 14:30

第一部 記念式典
第二部 記念ライブ(タカオ)

入場無料

植樹に先立つセレモニーは、笠原が司会を行い、全国協議会の大谷会長が今回の植樹キャンペーンの趣旨に触れて「この苗木が20年後には大樹になって、多くの患者さんを励ましてくれることを願っています」と感謝の挨拶を述べました。
続いて、同センターの佐藤事務長さんが「送られた苗木は1本でしたので、当センターでもう一本同じ種類の苗木を用意し



何かが、おかしー！ —財団役員人事—

今年1月、骨髄移植推進財団より、財団理事候補者推薦の依頼が届きました。協議会は、全員の信頼のもと、絶対的自信をもってN氏を推薦しました。しかし、財団の新理事を選任する評議員会に提案された候補者リストには、N氏の名前は載っていませんでした。

評議員会では、協議会副理事長でもあるY評議員が緊急動議を発し、N氏を候補者として掲載することを求めましたが、採決の結果、否決されたとのこと。私どもの推薦を握りつぶしたのが誰で、いかなる理由によるものなのか、一切不明です。しかし、このようなことが許されるのでしょうか。また、事実関係を精査することを放棄し、このような事態を容認してし

まった財団評議員会も、機能不全に陥っているのではないかと推測します。

患者の救命と造血細胞移植医療の発展を願う情熱、知識と経験において、N氏の右に出るものはいないと言つてよいでしょう。私どもからのこの推薦を闇に葬つたという事実は、もはや全国協議会というボランティア組織の支援は必要としないと宣言したにも等しいのではないのでしょうか。

財団設立以来、私どもはさまざまな形で骨髄バンクを応援してきました。これらも応援し続けたいと願います。しかし、私どもは「何か、おかしい！」と叫ばなければなりません。

2009バイシクルライドin東京

3月19日、東京都心を自転車で走る恒例のバイシクルライドが行われました。私は例年、ライダーの誘導を行うボランティアとしての参加でしたが、今年度は全国協議会としての参加枠がたくさんあるということで、初めて一参加者としてコースを走ることにしました。

骨髄バンクチームは、東京・神戸・福島総勢8名での参加となりました。もちろん黄色いタスキをかけ、道行く人たちに骨髄バンクをアピールしながら走つたのはいうまでもありません。東京赤坂のブルデンシャルタワーを出発し、東京のど真ん中を走りましたが、意外にも都心は車も少なく、刻々と変わっていく風景を楽しみながら、所要所で記念写真を撮りつつ、



3月19日、東京都心を自転車で走る恒例のバイシクルライドが行われました。私は例年、ライダーの誘導を行うボランティアとしての参加でしたが、今年度は全国協議会としての参加枠がたくさんあるということで、初めて一参加者としてコースを走ることにしました。

骨髄バンクチームは、東京・神戸・福島総勢8名での参加となりました。もちろん黄色いタスキをかけ、道行く人たちに骨髄バンクをアピールしながら走つたのはいうまでもありません。東京赤坂のブルデンシャルタワーを出発し、東京のど真ん中を走りましたが、意外にも都心は車も少なく、刻々と変わっていく風景を楽しみながら、所要所で記念写真を撮りつつ、

「ドナーになるってどんなこと?」 家族・職場編ができました。



2004年の発行以来、登録受付現場等で好評を頂いてきた「ドナーになるってどんなこと?」に、新しく「家族・職場編」が仲間入りしました。

この家族・職場編ではドナー登録から提供までの流れ、骨髄提供者へのアンケート結果、提供した方の職場や家族へのインタビュー、ドナー休暇導入事例の紹介など提供希望者の方や、御家族、職場の同僚の方たちなどに是非ご覧いただきたい内容となっております。

心の声

平成17年2月、白血病と診断された時から先生のお付き合いが始まりました。それから8ヶ月の入院。

つらい事もたくさんあったけど、いつもコナン先生が私のそばに居てくれた。

先生はキリリとしていて、看護婦さんや患者にも近寄りがない存在であった。でも、患者が悩み苦しんでいると知ると、何度でも説明し、説得し、とても励ましてくれる実は大変誠実な人柄なのである。

私は先生のことをいつもこう話す。「性格が男前やから好き！」

決して容姿が悪いわけではないが、とにかく患者思いの先生である。

ある日同室の患者が言った。「コナン先生って福山雅治に似てない?」 いたって大真面目である。四人部屋の私たちがくすくす笑って、「えっ、全然似てないよ!」と口々に言った。

するともう一人の患者が「私は野球の古田に似てると思うわ!」と言いだした。

みんなはすかさず「似てへん!似てへん!」と言つて笑い転げた。

患者は自分の好きなスターと務局までご連絡下さい。

●希望の方は、全国協議会事務局までご連絡下さい。

先生がダブって見えるようだ。この私も例外ではない、今でもサッカーの宮本選手に似ているとひそかに思っている。先生の顔はまるで百面相だ。

またある日看護婦さんが言った。「ねえ、知ってる?!コナン先生の電話の声、キムタクそっくりやねんで!」嬉しそうに言う彼女。

実は私は十年來のキムタクファンで、決して先生の声は似ていない。

分かった、分かった、みんな先生のことが大好きなんだ。

当の先生は、今日もそんなうわさすら知らずに、一生懸命に患者と向き合っていてくれる。

やがて私の病気が再発、再々発となり、ドナーからの骨髄移植を受ける為に、大好きな先生の元を離れ、設備の整った大病院に転院した。

平成20年10月、無事移植を終え、もうすぐ先生の元へ帰れる。はちきれそうな笑顔をもつて。

「コナン先生、ただいまう〜〜!!!」(兵庫県在住 女性)

●「協議事項」
●3月会計報告について
4月18日 東京浜松町海員会館
●共催・名義後援・減免申請等の承認案件
●2009年度総会、代表者会議について
●2009年全国骨髄バンクボランティアの集いin都城(感謝)

●公開フォーラム開催について
●東京の会を応援する集いについて
●財団への役員推薦の顛末
●Free Dom Life (フリーダムライフ)からの協力申し出について
●会費の適正額について(苦小牧の会からの提案)
●報告事項
●財団関連
●役員選考委員会
●バイシクルライド2009 in 東京について
●ありがとうキャンペーン(植樹)について
●認定NPO申請について
●ロッテ 西岡剛選手寄付活動について
●ドナーになるってどんなこと? 家族・職場編
●情報誌10号について
●白血病フリーダイヤル受付状況
●「佐藤さち子患者支援基金」受付・給付状況
●ドナーサポートダイヤル受付状況
●NWAチャリティメール提供状況
●今後の予定
2009年6月20、21日
第86回理事会

●2009年度総会、代表者会議について
●2009年全国骨髄バンクボランティアの集いin都城(感謝)

2009年度賛助会員
(3月24日~4月20日)

美濃加茂あじさいライオンズクラブ 10,000円

全協第2066号
2009年4月17日

財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 正岡 徹 様

特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
理事長 中野 勝博

貴財団の依頼に基づき当協議会から推薦した貴財団理事候補者名の扱いについて (質問)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、骨髄バンクを支援する私たちボランティアの活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、貴財団1月27日付け「骨髄第21—15号 当財団理事及び評議員への推薦方について(ご依頼)」において、当協議会からの推薦を依頼され、それに応える形で推薦をさせていただきましたが、3月26日開催の貴財団通常評議員会に提出されました事務局案の名簿には、当協議会からの推薦者名が記載されていなかったと、仄聞しております。貴財団発足以来、友好的な協力関係を保持しております貴財団と当協議会の間で、推薦者を拒否される、あるいは無視されるというこの事態をどのように解釈すれば良いのか、私たちは大変戸惑っております。
今回の推薦依頼につきましては、最初から「ふさわしい人物を選ぶので複数の推薦をするように」とか、私たちが送付した公式文書に対して個人メールで差し戻しをされ再考を要求されるなど、私たちに信じ難い対応が続き、団体と団体、組織と組織との対等な関係を維持するために守るべき最低限のマナーや約束ごとが反故にされていると感じております。
つきましては、私たちが理念を共有し、ともに活動する全国の加盟団体や支援ボランティアの皆様にも本事業の経緯を明確に説明ができるように、このたびの「貴財団の依頼に基づき当協議会から推薦した貴財団理事候補者名の扱いについて」下記の通り質問させていただきます。
なお、4月27日(月)までにご回答賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

○質問1 当協議会からの推薦者を名簿に記載しなかった理由を教えてください。
○質問2 理事・評議員などの事務局案を作成するときのルールと責任者を教えてください。
○質問3 評議員会の席上でもなぜひんに記載していないのか質問があったと思われそうですが、その際に述べられた理由をお聞かせ下さい。

〈連絡先〉
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9F
TEL: 03-3356-8217 FAX: 03-3356-8637
e-mail: office@marrow.or.jp http://www.marrow.or.jp

心からのご寄付に 感謝申し上げます

3月24日~4月20日

㈱タクココーポレーション	現金	10,000円
エグゼキューブ㈱	現金	2,450円
㈱フラワーオーケションジャパン	現金	239,500円
ワカメシイタケとれとれ会社	現金	10,033円
大塚雅弘	現金	5,000円
松原良昌	現金	5,000円
山田康博	現金	9,880円
塩谷泰人	現金	1,000円
匿名	現金	150,000円
匿名	現金	5,000円
匿名	現金	340円
日新火災海上保険㈱社長室広報グループ	切手	26,775円
●白血病患者支援基金		
ブルデンシャル生命保険㈱	現金	1,103,000円
㈱北越ケーズ	現金	151,750円
磯屋食堂 伊藤博康	現金	3,643円
歌謡曲BAR「スポットライト」	現金	3,589円
㈱洋伸	現金	4,246円
カンセキ (駅東店・西川田店・若草店)	現金	8,772円
タケダドラッグ 新大宮店	現金	2,754円
㈱イシベマルカツ薬局	現金	2,098円
医療法人栄新会 芥川町クリニック	現金	1,243円
㈱千曲堂印舗	現金	3,579円
金田燃料店	現金	800円
●佐藤さち子患者支援基金		
にいがた骨髄バンクを育てる会	現金	800,000円
服部伸	現金	23,500円
匿名	現金	50,000円 (敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会